

# 特別支援教室だより

令和5年10月 吉日  
巡回拠点大杉東小学校  
特別支援教室通信  
令和5年度 NO. 6

【 今回のテーマ 】



## 体の動かし方がつたない子 ～ボディイメージと空間認知能力の弱さ～



【 こんなことが考えられます 】

ボディイメージと空間認知能力の弱さとはどういうことでしょうか。ボディイメージとは、「自分の身体の大きさ」「自分の輪郭」等を実感する力のことをいいます。混雑した人混みの中、周りにぶつからないよう歩けるのはボディイメージのおかげです。空間認知能力とは、空間に占める物の大きさ、高さ、広さ、位置等を把握する力のことをいいます。私たちは、自分の身体を把握するボディイメージと、周りの空間を把握する空間認知能力の両方を発揮することで、状況に適したふるまいをしているといえます。これらの力がうまく育たないと、日常生活の中でも人との距離感を調節することの難しさや、手先を器用に動かすことの難しさ等の困難さを抱えることがあります。

【 支援できることは何でしょう 】

ボディイメージや空間認知能力は、子供たちに身近な「遊び」から育てることができます。

○ボール遊び・・・投げる蹴るの他にも、ペアで背中にボールを挟んで運ぶ、ペアになり手と手でボールを挟んで運ぶ…等

→力の入れ具合を意識したり、相手と体を寄せ合って協力したりすることは、周囲の物を注意深く扱うことや、適切な距離感をつかむことにもつながります。

○フラフープ・・・フラフープを遠くまで転がした後にキャッチしたり、くぐったりする。

→狭い空間に自分の身体を合わせて対応していく動作がボディイメージの理解につながります。また、物と自分との位置関係を捉える力を育てます。

他にも、粘土やかくれんぼ、昔遊びの竹馬やお手玉…等、様々な遊びを通して身に付く力がたくさんあります。好きな遊びを増やし、多くの経験を重ねていけるとよいですね。

本校には5名の巡回指導教員がおります。「特別支援教室」について、ご質問がございましたらご連絡ください。

また、本校のホームページに「特別支援教室だより」のバックナンバーも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

ホームページのQRコードはこちら 

